

K2インターナショナル グループのご紹介

不登校・ひきこもり・ニート

自傷・自殺未遂

リストカット

拒食・過食

いじめ

居場所がない

家族への**暴言・暴力・脅迫**

発達障がい・コミュニケーション障がい

部屋の中は

ごみ屋敷状態

被害妄想

存在感がない**無重力**状態

うつ状態

暴君化

わがまま

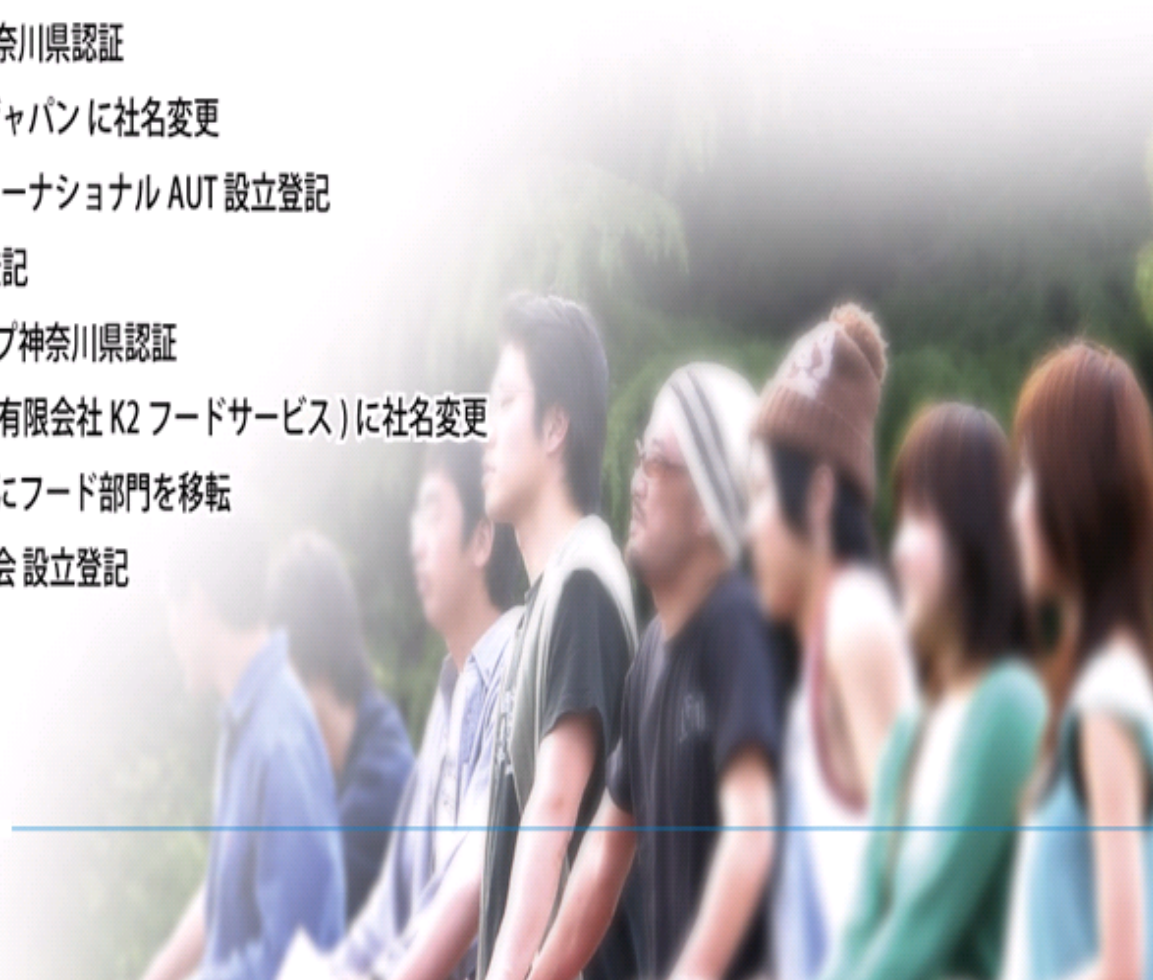
K2インターナショナルグループ のミッション

人間の営みを支援し共に生き、共に成長する。私達のテーマです。

K2インターナショナルグループは1988年より不登校・ひきこもり・発達課題など、生きづらさを抱える若者達の自立就労を支援し、共に生きる場を作ってきました。生きづらさをの中、もがき、苦しみ、あげくは自分の周囲をも傷つけてしまう・・・そんな若者たちに対し、既存の教育や福祉サービスと共に連携しながら民間ならではの力で支援していきます。

社歴 K2グループ社歴

- 1988年 株式会社テクノランド 教育部門インターナショナルコロンブスアカデミー発足
- 1989年 任意団体インターナショナルコロンブスアカデミー (ICA) 設立
- 1996年 団体を株式会社 設立登記
- 2000年 NPO 法人コロンブスアカデミー神奈川県認証
- 2003年 株式会社 K2 インターナショナルジャパンに社名変更
- 2004年 オーストラリア現地法人 K2 インターナショナル AUT 設立登記
- 2006年 有限会社 K2 フードサービス設立登記
- 2007年 NPO 法人ヒューマンフェローシップ神奈川県認証
- 2011年 K2 ドリームプロジェクト (旧社名 有限会社 K2 フードサービス) に社名変更
株式会社 K2 インターナショナル内にフード部門を移転
- 2011年 一般財団法人 若者自立就労支援協会 設立登記



岩本真実 自己紹介



1971年神奈川県生まれ。野村證券株式会社OL時代、K2にてボランティアを開始。

1997年より海外で不登校児と共同生活を送りながら、就労支援のためのレストラン、ブックショップ等計4店舗の立ち上げに携わる。

2005年に帰国し、現在は、湘南若者サポートステーション統括コーディネーター

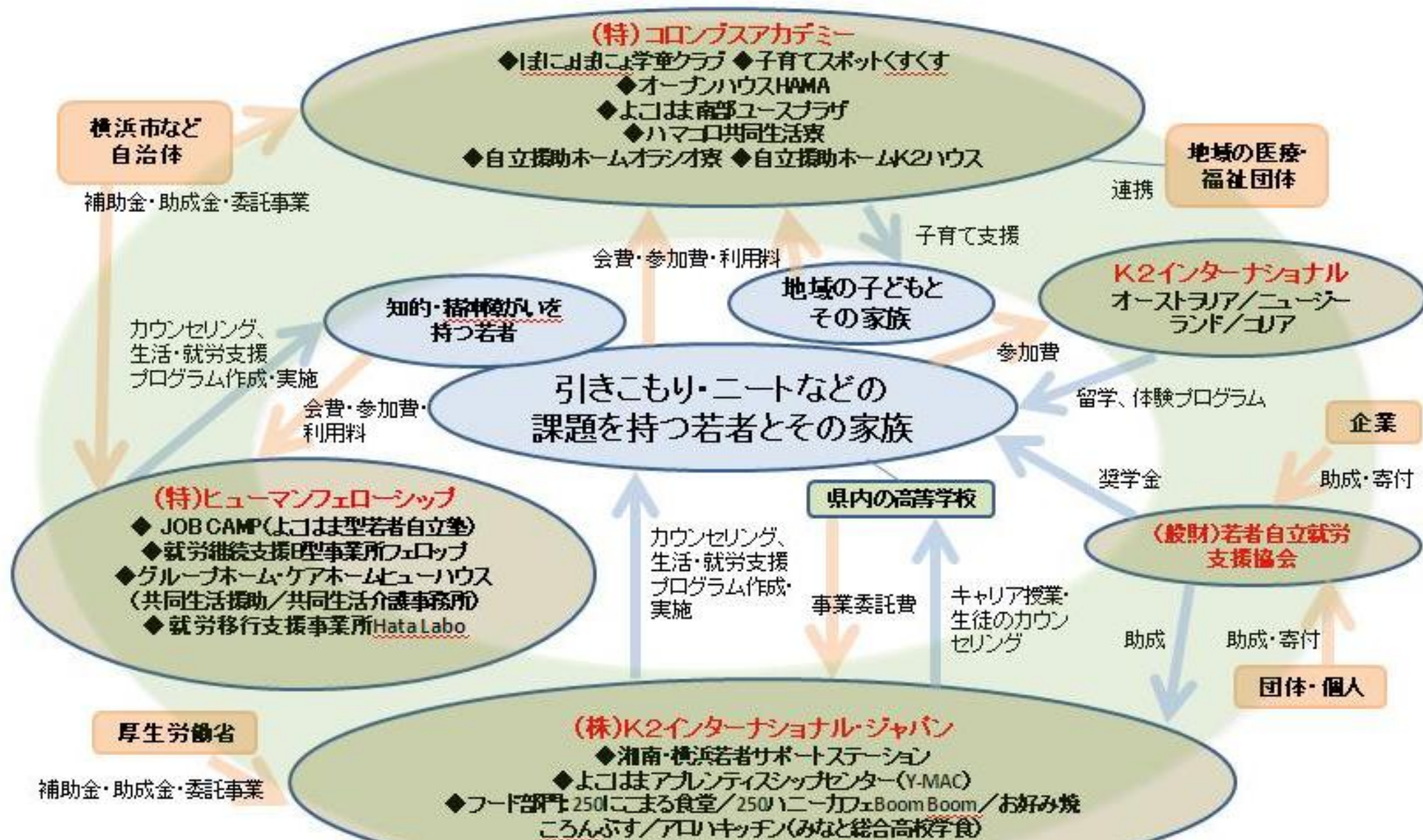
2013年からは(特)ヒューマンフェローシップの代表理事も務める。

社会起業家のためのビジネスプランコンテストSTYLE 優秀賞受賞(2007年)、日経ウーマンのウーマンオブザイヤー「リーダー部門第9位」(2008年)受賞。

1988	1990	1996	2000	2005	2007	2010	2013
	バブル崩壊	就職氷河期		アメリカテロ事件	リーマンショック	東日本大震災	
			NPO法設立	モンスターペアレンツ		民主党政権 事業仕訳	自民党に政権交代
登校拒否	母原病	不登校	若年失業者		ワーキングプア	無縁社会	
	ひきこもり			社会的ひきこもり	秋葉原事件		いじめによる自殺が多発
積極的フリーター	アダルトチルドレン		ニート 消極的フリーター			若年ホームレス	
自由な働き方			シングルパラサイト			若者の孤独死	
				若者自立・挑戦プラン(国で初めて若者支援事業に着手)		パーソナルサポートモデル事業	
				ヤングジョブス ジョブカフェ サポートステーション		生活支援戦略	
				若者自立塾(合宿型)		改めて合宿型の復活	
コロンブス大航海(体験プログラム) 自主事業 アメリカのテロ以降休止							
不登校・ひきこもり支援 共同生活型フリースクール(自主事業) 現在 100名以上収容できる多様な住まいとサポートの運営							
	1989~ お好み焼きころんぶす本店	2002~ 港南台店	2008年~ 石川町店	2012年~ 石巻店(自主事業 就労の場)			
				2005厚生労働省委託事業 若者自立塾Y-MAC		自主事業として運営継続	
			2000 保護者会からNPO法人コロンブスアカデミーを設立				
				2005子育て支援拠点くすくす開所(地域の乳幼児親子の居場所 / 2007オープンハウHAMA 地域の子どもの居場所)			
					2008 よこはま南部ユースプラザ(横浜市事業) ひきこもり回復期からの居場所		
					2007 NPO法人ヒューマンフェロシップ設立 福祉的な支援を取り入れる		
					2007 グループホーム(福祉的支援を取り入れた住まい)		
	生活支援・体験プログラム等				2008 よこはま型若者自立塾(横浜市事業) 体験型・合宿型支援		
	就労支援働く場づくり				2008 就労移行支援事業所B型フェロップ 清掃事業・軽作業 ポストイン事業		
	国や自治体からの委託事業 職業訓練等				2008 高校訪問支援・出張相談事業 予防的支援 学校との連携の実現		
	法人設立				2009 にこまる食堂 若者就労支援のための会員制食堂と働く場		
	地域連携事業				2009 学童クラブぽによぽによ 地域の子どもの放課後支援+若者の雇用づくり		
					2010 湘南横浜若者サポートステーション(厚労省事業) 広域支援		
					2011 パーソナルサポートモデル事業/シェルターハウス		
					2011 一般財団法人若者自立就労支援協会(若者基金)		
					2011 MI-K2 被災地支援プログラム(新しい公共事業)		
					2012 就労移行支援事業所HATALAB		

K2インターナショナルグループのビジネスモデル

※この図ではわかりやすくするために単純化していますが、法人が連携して行っている事業もあります。



私達の事業の柱

①働く為の前提となる**生活・住まい**

②課題を抱えながら**働ける場**

③働き続ける為の**循環型コミュニティー**

① 働く為の前提となる

生活・住まいの安定
生活圏を共にする

共同生活

海外共同生活

共同生活ハウス(ハマコロ・エクレシア・オラシオ)

家族的なかかわりを
重点においた寮生活

生活・学習支援



一軒家型、2~5人部屋

羊鳴館、BH寮

自己管理・時間管理・
生活管理の為の寮生活

自治会の編成

アパート型
2人部屋／1人部屋



ファーマーズハウス 共同生活寮



家の改装も自分たちでしました！



農作業の合間にお昼寝～



開所式が沢山の人が来てくれました。



畑の目の前！のんびり静か



体験合宿の夜は、取れたての野菜でBBQと交流会！

② 課題を抱えながら

働ける場づくり



お好み焼きころんぶす

根岸本店・港南台店・石川町店



学校給食 × 若者就労支援
アロハキッチン



250にこまる食堂

地域のコミュニティーカフェ×若者就労支援



1年前はこんな荒れた畑でした・・・。



1年前



夏には毎日
おいしい野菜
を沢山収穫し
ました！！



まだまだ...



種まき...
苗つけ....

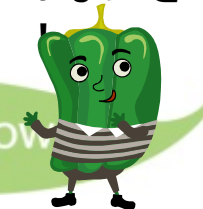


ロータリークラブから
ビニールハウス
をいただきました。



にこまるファームの軌跡...
2年間休耕地だった畑を
みんなで整地し、こんなにき
れいになりました！！

NPO Human Fellow





NIKOMARU SOCIAL FARM

250 にこまる ソーシャル・ファーム





③ 働き続ける為の

支援の循環型コ ミュニティーづくり



学童クラブぽによぽによ 改め 放課後ドラマぽによ+

石巻震災復興×若者支援プロジェクト

横浜市子ども青少年局青少年育成課 よこはま型若者自立塾による

6月の石巻復興支援バザール

うんめえもん市

～忘れないこと・続けること・進化すること～

ご愛顧感謝します!

- ⑦ 鮎の肉じゃがコロッセ (2個入り) 300円
- ⑧ 塩麹入り焼ひもの塩コロッセ (2個入り) 300円
- ⑨ 焼きたろこ風味カツオのおにぎり (2個入り) 300円

※写真はイメージです。

- ① うんめえわっぱ飯パート8! 550円
- ② 新・穴子のちあん寿司 550円
- ③ 穴子とみょうがの押し寿司 700円
- ④ 穴子と細と胡瓜の巻き寿司 550円
- ⑤ 煮アナゴざっぴり穴子巻 750円
- ⑥ まだまだ食べたい定食メニュー
- ⑦ 石巻焼きそば 350円
- ⑩ おかめと豆腐のほどくちおさつ ドーナツ 250円
- ⑪ おかめと豆腐の小さなごしあん ドーナツ 250円

※他にも当日限定メニューを販売しますので、是非ご来店ください。
心を込めてすべて手作り、皆様にお届けするためにご予約をお待ちしております。
※当日の営業では、現金コーナーを設けております。新しい石巻の味を是非味わってください。

うんめえもん市とは、被災地石巻の名物、特産品などうんめえもんをどっさり使い、フロのシェフとコラボして新しい石巻のうんめえ料理を皆様に提供するNewプロジェクトです。



《これまでの開催場所》250にこまる本店、お好み焼きころんぶす、にこまるカフェ、横浜市役所本庁舎、西区役所、栄公会堂、栄区役所、港北区役所、金沢区役所、山下公園芸術祭、港フェスタなど

パン屋のオヤジ 今年4月オープン



Panyano Oyaji



抹茶XOパン お好。
濃いめの抹茶が
抹茶の味と合点。

K2グループの特徴

事業規模: グループ全体で約7億

自主事業が半分、補助委託事業などが半分

寄付: NPOへの寄付は少ない。K2家族の会が一般財団
株式会社を立ち上げ、側面的に事業を支えている。

スタッフ数: 約100名 半数は元当事者、残り3割が元ボランティア

メンバー: 横浜・根岸に住み活動するメンバーは100名程度
通いや相談などを入れると年間600名以上の参加者
スタッフも近くに住み職住接近することで、働きやすく、
生活しやすい環境をつくっている。

調査研究など

2013年

ソーシャルフランチャイズ研究会に参加した事をきっかけにデータ分析、SROI調査を始めて実施。

2014年 合宿型プログラムSROI調査

2015年～ データベースをつくり、社内環境の整備を行う。(セールスフォースを活用し、電子カルテ化)

2016年 内閣府のソーシャルインパクト調査事業にて、「若者支援における家族の関与のインパクト」を見える化することに取り組み中。

わかり難い「若者支援」の成果を見える化する試み 困難度の点数化

◆対象者に対して、合宿型利用者／非利用者というだけでなく、個別の状況も比較材料にするべく、困難度を点数化する換算表を作成。

◆原票の属性データ部分の項目をそれぞれ0点～3点と設定。

◆点数設定は出口支援の観点から行った。

(例)

- ・発達障害、精神疾患、知的障害
- ・学歴

「診断あり」 < 「疑いあり」
「高校卒」 < 「大学中退」

◆調査結果を踏まえ、困難度を3つのレベルに区分。

- ・困難度20点以下:「低度困難者」
- ・21点以上34点以下:「中度困難者」
- ・35点以上:「高度困難者」

対象者は湘南・横浜サポステの利用者と合宿型プログラムの利用者のうち、進路決定した者を分析

図表3: 調査対象となる母集団

調査対象(原票に記載がある者)	人数	有効回答数 * 困難度データ無効を除く
サポステ登録者中の就労決定者(2010年6月～2014年3月)	205人 (A+B)	196人(A+B)
就労決定者のうち、 【A】合宿型利用者	71人	69人
就労決定者のうち、 【B】通所型利用者	134人	127人

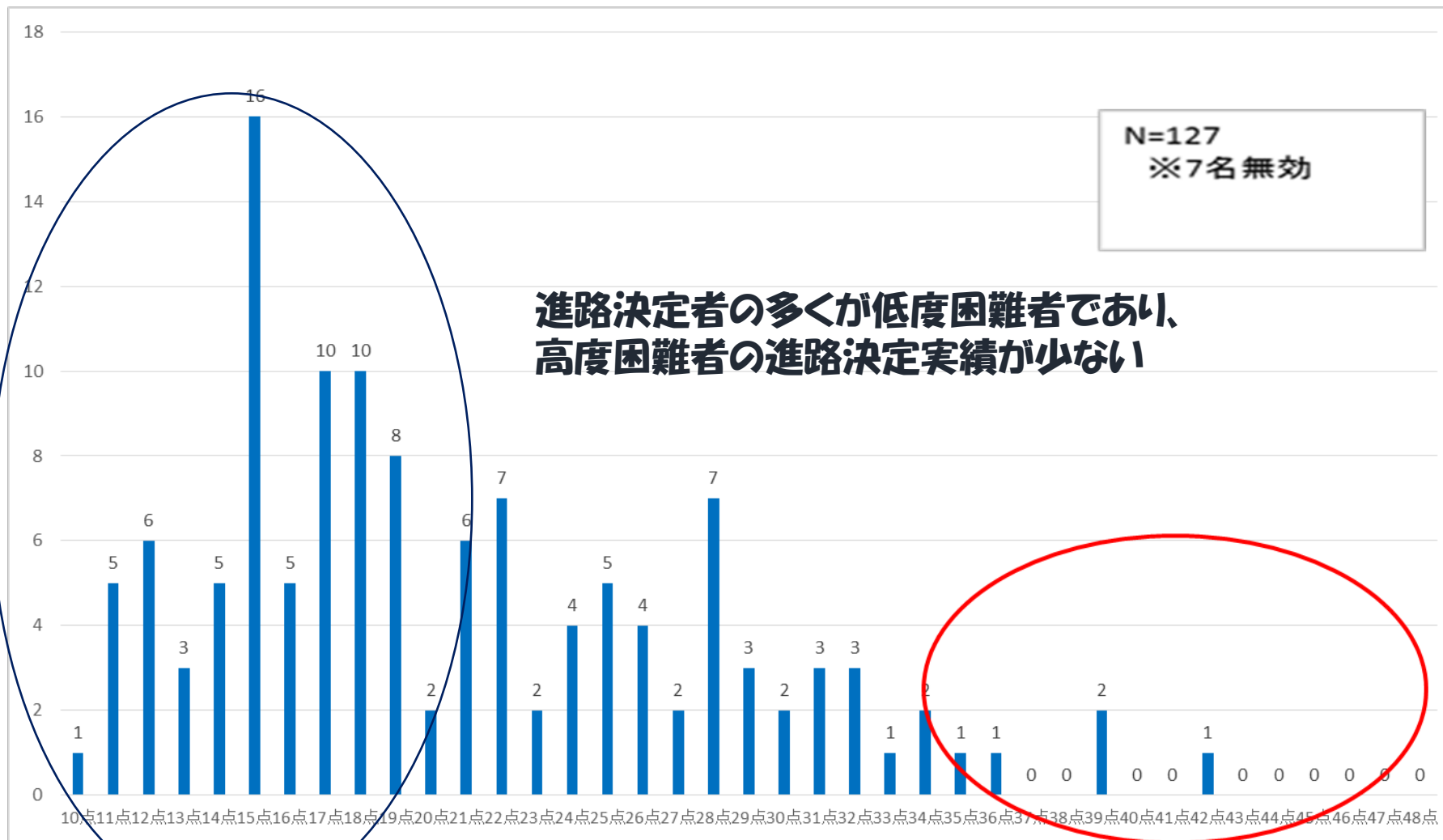
合宿型プログラム参加者数 (181人)	2010	2011	2012	2013
	61人	37人	55人	28人

図表4: 近況アンケート回収状況

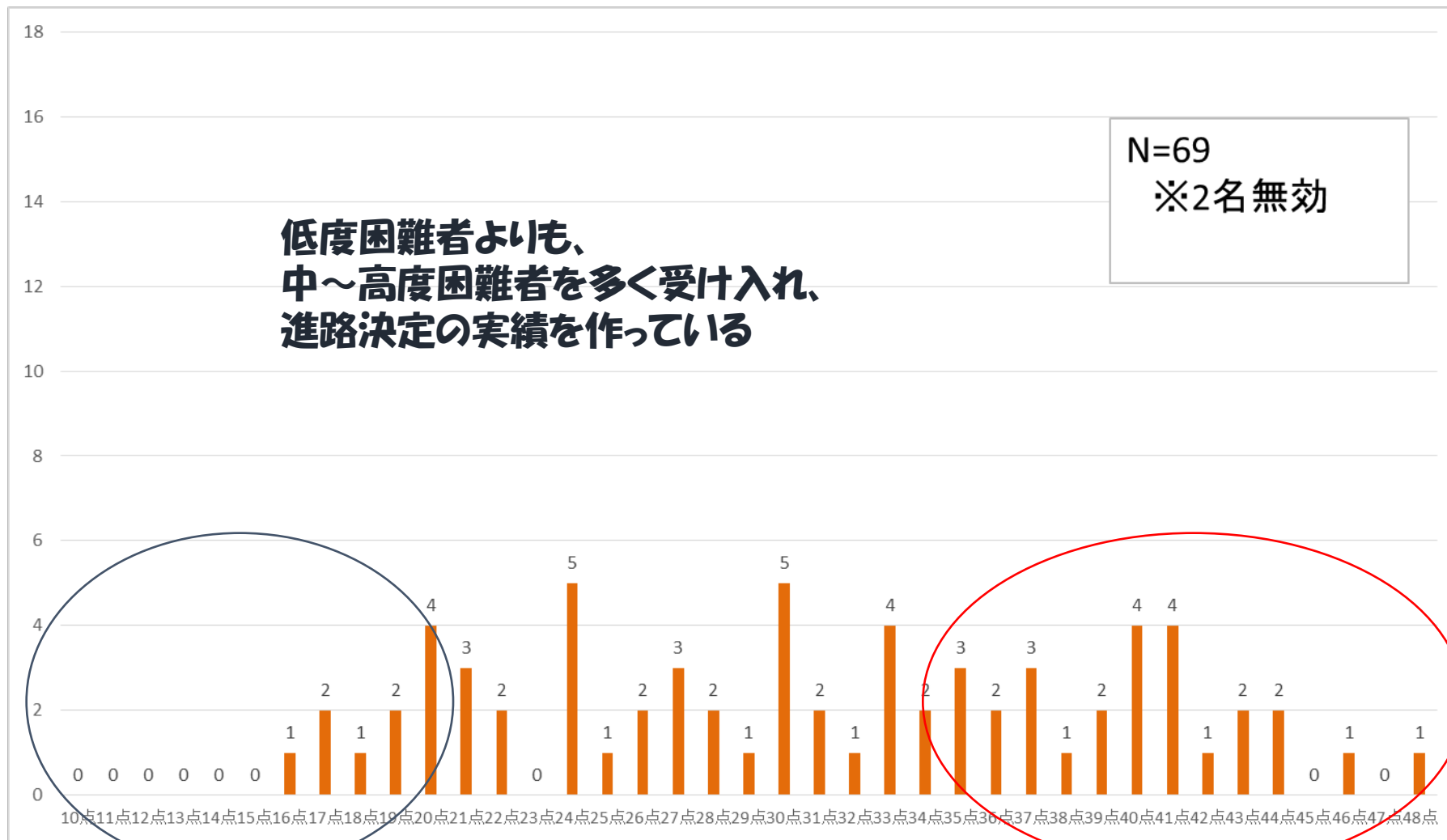
利用者区分	回収数
合宿型利用者	61
通所型利用者	45
計	106

図表3の就労決定者を対象に、2014年7月11日から7月23日にかけて「利用者近況アンケート」(調査票は参考資料編参照)をK2事務局の協力のもとに実施。調査方法は対面でのヒアリング(主に合宿型)、電話による聞き取り(主に通所型)。回収状況は図表4の通り

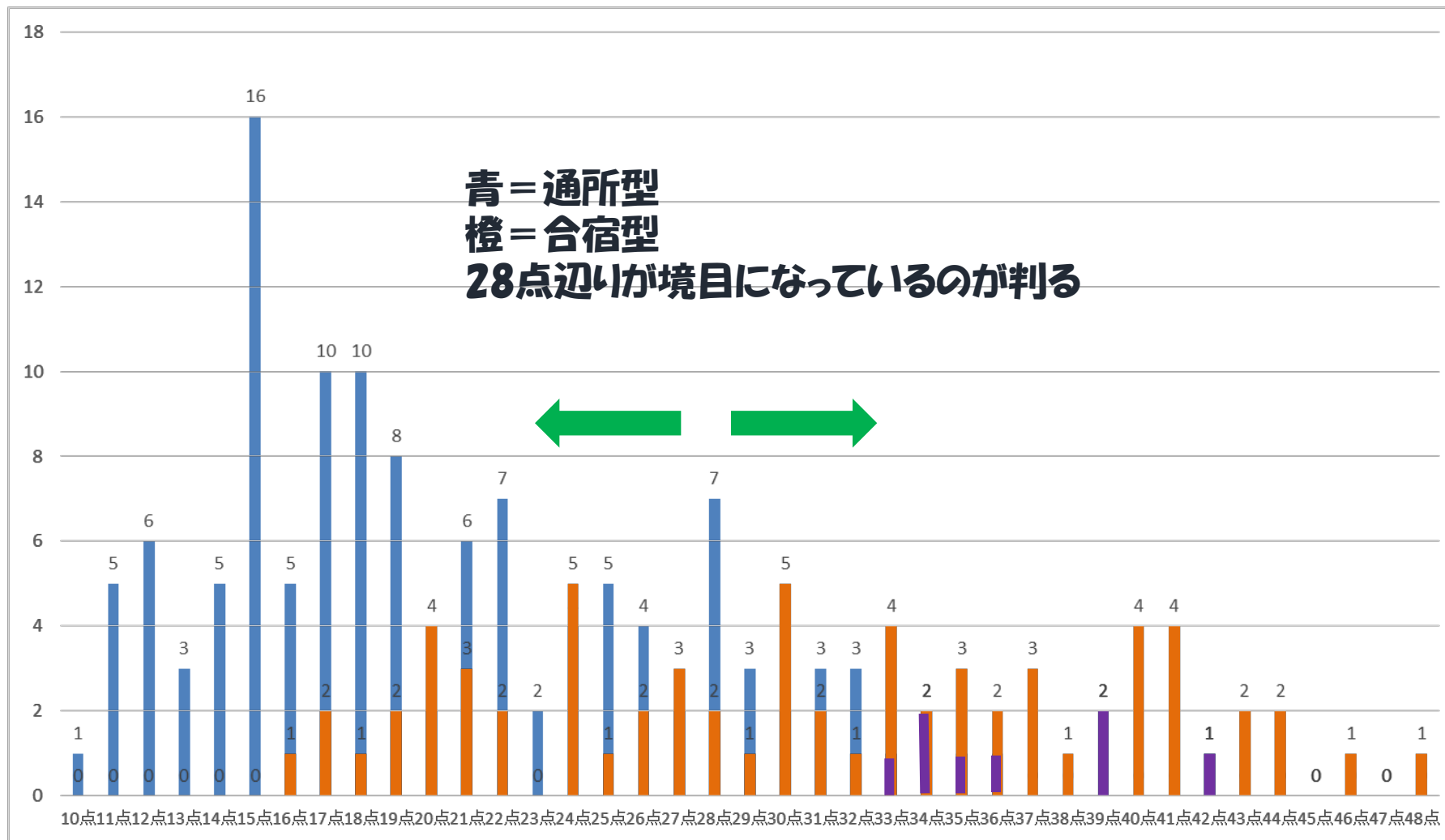
困難度点数別就労等決定者分布(通所型)



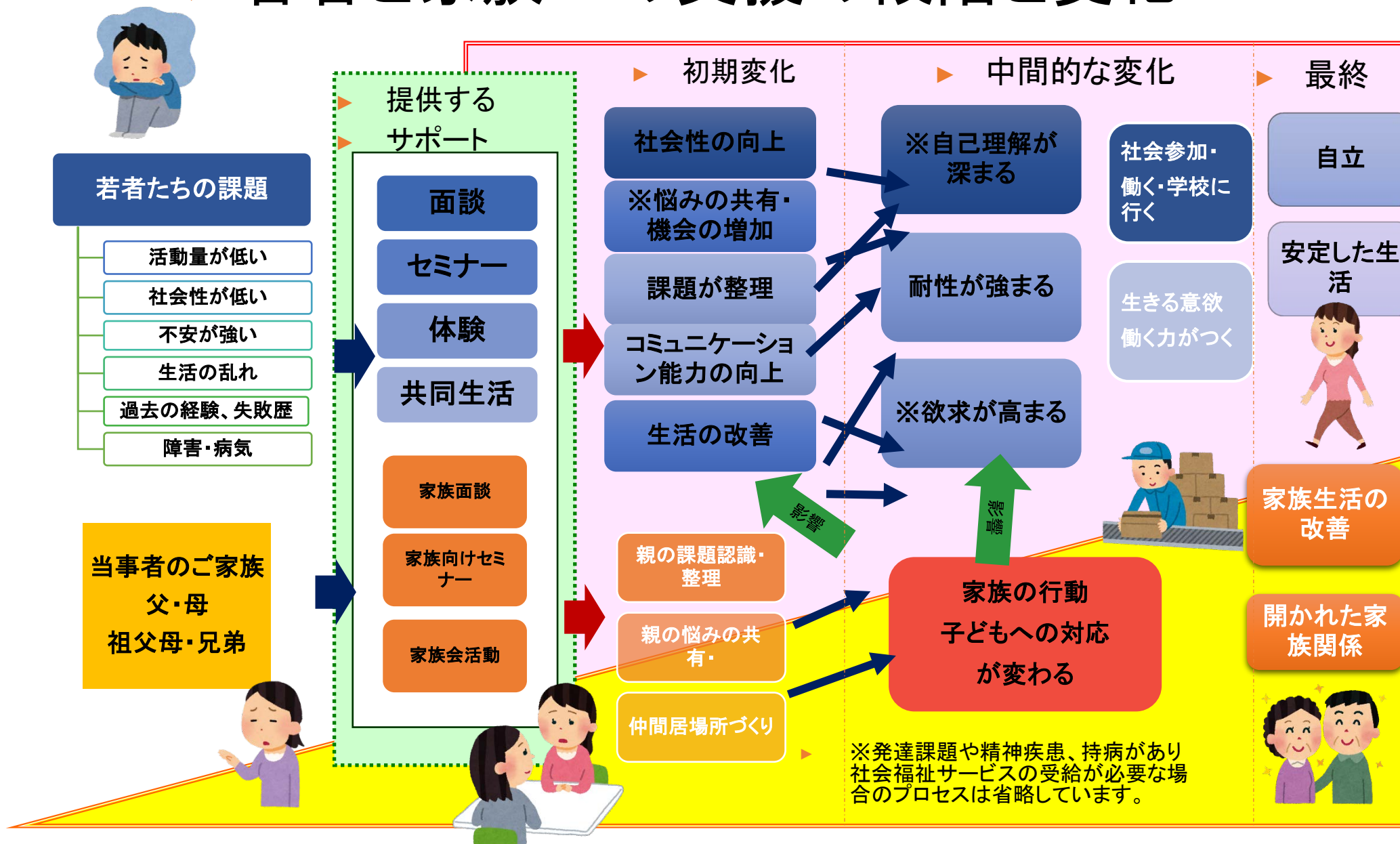
困難度点数別就労等決定者分布(合宿型)



困難度分布比較(合宿型／通所型)



▶ 若者と家族への支援の段階と変化



課題など

- 資金調達：
事業収入、国・自治体からの委託、家族会からの寄付資金提供
寄付や事業拡大への資金調達
 - 人材：現在はつながりのある人が中心
今後、必要な人材をどう確保するか？
 - 社会的な認知：「若者支援」の制度化
- * 若者支援のブーム？が過ぎ、貧困などに文脈が変わりつつある中で
課題を認知してもらう事の難しさ